1補助金の概要 【No.267】

補助金名称	第32回全国川サミットin旭川主催自治体	負担金				
補助金の性格	団体への補助(事業費補助)		始期	R6	終期	R6
予 算 事 業 名	全国川サミット開催負担金		(事業コー	ド)	081133	
所 管 部 署	土木 部 土木総務	課	係電	話番号	内線55	513
交付先(団体、個人等)	第32回全国川サミットin旭川実行委員会					
交付目的	(対象) 誰、何に対して 本市が主催する領	「32回全国川サミットin旭川	の実行委員	会		
Z (1) G (1)	(意図) 国及び全国の一線 どういう状態にしたい まちづくりについて	ぬ河川流域自治体等に対し に発信し魅力を伝えたい	、川のまち	である本市	における川	を活かした
対象事業等の内容	現地視察(北彩都ガーデン)、全国川サミ トin旭川(北海道教育大学附属旭川小学		自治体の首	1長による発	養 表等)、全	国川サミッ
積算方法	事業内容に応じた補助(予算の範囲内)					
	① 開催日数	単位:日②				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	R02 R03 R04 R0	R06 R02	R03	R04	R05	R06
の天順	2 岩手県一関市 0 愛知県岡崎市 滋賀県号	3 2 山市 北海道旭川市				
	① 参加自治体数	単位:自治体 ②				単位:
成果指標と過去5年間の 実績	R02 R03 R04 R0	R06 R02	R03	R04	R05	R06
大恨	27 0 13	14 28				

2収支状況等 単位・千円

24	义文礼	犬況等						単位:千円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年原	度繰越					
補助対象事業等	収	市負担	旦金				886	
	入	参加自	自治体負担金				600	
象	内訳	助成金	金				800	
事	八	協賛釒	金				500	
美		その作	也				631	
の	収入	合計					3,417	
収支	市補	助率((%)				25.9%	
収支状	支出	合計					3,417	
況		うち食	糧費、交際費				707	
	次年	F度繰走	越					
	一般	段財源						
	特定	財源					886	
市台	人	正職員	」人工				0.6	
市負担額	件	11_46,5	金額				4,700	
額	費	臨時•嘱託	E/会計年度任用職員					
	-)他事剂	务費					
	合計	†					5,586	
		象者数					350	
補.	助金	単位コス	スト(単位:円)				15,960	
		4	共通事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
				◆ 交付申請等が定めた。	ことおりになっている			
淬	格性	[5	団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれている	3
迴	计计	5	会計処理等	◇決算における繰越金		判断し、妥当である		
				総会において監査報告が	が行われている。			
	1 14	-th /		7	今和4年度7 679 千円	^ 1	^ 	- A

3個別項目に対する評価 [No 267]

31	◎別項日Ⅰ−刈9る計	F1IIII	[No.26/]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/∢\┴┴₳₩ #	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費 	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	- へ - ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助金交付基準と		◆ 上記以外	■ 合致しない
金衣		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
人付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準		◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	」 ■ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間	V 44777-1-1872-2-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	い(対象外)
の適合性	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
			していない
台灣			┃ ┃ 奨励目的補助だが、終期を設定
土			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付		
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
	. V. Ld	1級河川流域自治体等が主催している全国川サミット実行委員会への負担金であるため。	■ 公益性が高い
21	公益性		
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
o i	ᇪᆂᄽ	1級河川流域自治体等が主催している全国川サミット実行委員会への負担金であるため。	■ 必要性が高い
٥y.	必要性		
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4亥	効果	本市が主催した32回目である全国川サミットは過去最高である28の自治体に参加いただ	■ 効果が高い
		き、川のまちである本市の魅力を伝えることができた	 □ 効果が高いとは言えない
		 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	□□ 刈水≒・□・・□では日でない・
5 2	- の#		
51	その他	1(3) 持ち回りで開催する全国川サミットに対する開催負担金であるため、補助率を設定すること:	がたにキたいため
		1寸つ回って 加低する土岡川ッミノロミ別する 刑性長担亚でのるには、情助学で設定すること	1.40446.15670

4令和3年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(その他の兄担し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

題 解決に向けた取組

評	価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評	価	終了	持ち回り開催への負担金であるため。
外部評	価	_	1
2次評	価	終了	_

1補助金の概要 【No.268】

でする。	一冊列並の佩女										[140.200]
予算事業名雪対策費 (事業コード) 083104 所管部署 土木部 雪対策課 係 電話番号 内線5051 交付先(団体、個人等) 補助事業者の条件を満たす除排雪関係業務受託(受託予定者含む)者 (対象) (選託者から除雪関係業務の一部を受託又は受託しようとする者を含み、大型自動車免許を取得しようとする場合は、除雪関係業務の一部を受託又は受託しようとする者に限る。) (意図) どういう状態にしたい 土木部が委託する除排雪関係業務において、除雪機械等で作業する際に必要となる「大型自動車免許」、「大型特殊自動車免許」又は「車両系建設機械運転技能講習」を新たに取得するための自動車教習所が行う教習に係る費用又は教習に係る費用として運転免許取得者に支給する費用の一部を助成する。 土木部が委託する除排雪関係業務において、除雪機械等で作業する際に必要となる「大型自動車免許」、「大型特殊自動車免許」以は「車両系建設機械運転技能講習」を新たに取得するための自動車教習所が行う教習に係る費用として運転免許取得者に会も前取得に係る積用の一部を助成する。なお、制度の拡充について令の記名年度にも助車免許取得により表する構即の得します。なお、制度の拡充について令の記名年度にも助車の記事は、「報助するとともに、大型特殊自動車免許取得に係る補助上限額を実態に合わせ、4万円から6万円に引き上げ、令和5年度に車両系建設機械運転投能講習補助(補助上限額27円)を新設した。 ・補助対象を費の1/2以内(千円未満切り捨て)・運転免許取得者1/3上に取20,000円、大型特殊自動車免許以得者1/3上に取20,000円、車両系建設機械運転技能講習は上限20,000円 ・連転免許取得者1/3上に取20,000円 ・工業特殊自動車免許以上限100,000円、大型特殊自動車免許は上限60,000円、車両系建設機械運転技能講習は上限20,000円 申位:人 ②大型自動車免許取得者数 単位:人 単位:人 ②大型自動車免許取得者数 単位:人 単位:人 ②大型自動車免許取得者数 単位:人 単位:人 ②大型自動車免許取得者数 単位:人 単位:人 ②大型自動車免許取得者数 単位:人 単位:人 型に 型に 人工 工程: 目位:人 型に:人 型に 人工 工程:	補 助 金 名 称	旭川市除雪	B川市除雪機械等運転免許取得支援事業補助金								
所 管 部 署 土木 部 雪対策 課 係 電話番号 内線5051 交付先(団体、個人等) 補助事業者の条件を満たす除排雪関係業務受託(受託予定者含む)者	補助金の性格	団体への補	輔助(事業費	[補助]				始期	R1	終期	_
交付先(団体、個人等) 補助事業者の条件を満たす除排雪関係業務受託(受託予定者含む)者 (対象)	予 算 事 業 名	雪対策費						(事業コー	ド)	083104	
(対象)	所 管 部 署		土木 部		雪対策 課			係電	話番号	内線50	051
交付目的	交付先(団体、個人等)	補助事業者	制助事業者の条件を満たす除排雪関係業務受託(受託予定者含む)者								
(意図) どういう状態にしたい 市の除排雪事業に携わる人材を育成し、安定した除排雪体制を確保する。 土木部が委託する除排雪関係業務において、除雪機械等で作業する際に必要となる「大型自動車免許」、「大型特殊自動車免許」又は「車両系建設機械運転技能講習」を新たに取得するための自動車教習所が行う教習に係る費用又は教習に係る費用として運転免許取得者に支給する費用の一部を助成する。なお、制度の拡充について令和3年度に大型自動車免許取得に対する補助(補助上限額を10万円)を新たに開始するとともに、大型特殊自動車免許取得に係る補助上限額を実態に合わせ、4万円から6万円に引き上げ、令和5年度に車両系建設機械運転技能講習補助(補助上限額2万円)を新設した。 ・補助対象経費の1/2以内(千円未満切り捨て)・運転免許取得者1人当たり大型自動車免許は上限100,000円、大型特殊自動車免許は上限60,000円、車両系建設機械運転技能講習は上限20,000円 事業量指標と過去5年間の実績 「大型特殊自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人の実績を関するとと表別である。 「大型特殊自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人の実績を関すると表別である。 「大型特殊自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人の実績を表別である。 「大型特殊自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人の実績を表別である。 「大型特殊自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人。「大型特殊自動車免許取得者数単位:人②大型自動車免許取得者数単位:人。「大型特殊自動車免許取得法別、「大型特殊自動車免許」、「大型特殊自動車免許」、「大型特殊自動車免許」、「大型特殊自動車免許」、「大型特殊自動車免許」、「大型特殊自動車免許」、「大型特殊自動車免許」、「大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大	交付 目的			(受託者から	除雪関係業	務の一部を	受託又は受	託しようとする	る者を含み、		
車免許」又は「車両系建設機械運転技能講習」を新たに取得するための自動車教習所が行う教習に係る費用又は教習に係る費用として運転免許取得者に支給する費用の一部を助成する。なお、制度の拡充について令和3年度に大型自動車免許取得に対する補助(補助上限額を10万円)を新たに開始するとともに、大型特殊自動車免許取得に係る補助上限額を実態に合わせ、4万円から6万円に引き上げ、令和5年度に車両系建設機械運転技能講習補助(補助上限額2万円)を新設した。 ・補助対象経費の1/2以内(千円未満切り捨て) ・運転免許取得者1人当たり大型自動車免許は上限100,000円、大型特殊自動車免許は上限60,000円、車両系建設機械運転技能講習は上限20,000円 事業量指標と過去5年間の実績 R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 「1 大型特殊自動車免許取得者数 単位:人 ② 大型自動車免許取得者数 単位:人 R02 R03 R04 R05 R06	מום מו		態にしたい	市の除排雪	雪事業に携え	わる人材を	育成し, 安気	定した除排物	雪体制を確何	保する。	
積算方法・運転免許取得者1人当たり大型自動車免許は上限100,000円、大型特殊自動車免許は上限60,000円、車両系建設機械運転技能講習は上限20,000円事業量指標と過去5年間の実績① 大型特殊自動車免許取得者数 R02B03B04B05B06B02B03B04B05B06方10151215412710成果指標と過去5年間の実績① 地区総合除雪業務受託者の40才未満の除雪機械オペレータの割合 事績単位:% 日本位:%② トラック協会旭川支部の40才未満のダンプ車両運転手の割合 単位:%単位:% 日本位:%R02R03R04R05R06	対象事業等の内容	車免許」又は 係る費用とし なお、制度 もに、大型特	は「車両系建 」て運転免許 の拡充につ 持殊自動車免	設機械運転 取得者に支 いて令和3年 許取得に係	支能講習」を 給する費用の 度に大型自 る補助上限額	新たに取得す の一部を助成 動車免許取す 額を実態に合	するための自 なする。 得に対する補	動車教習所 動(補助上	が行う教習(限額を10万円	に係る費用又 日)を新たに関	は教習に
事業量指標と過去5年間 R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 R06 R02 R03 R04 R05 R06 R06 R05 R05 R06 R05 R05 R06 R05	積算方法	•運転免許	取得者1人	当たり大型	自動車免許		,000円、大	型特殊自動	車免許は上	- 限60,000円	3、車両系
の実績 5 10 15 12 15 4 12 7 10 10 15 は 12 15 4 12 7 10 10 11 地区総合除雪業務受託者の40才未満の除雪機械オペレータの割合 単位:% ② トラック協会旭川支部の40才未満のダンプ車両運転手の割合 単位:% R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 R06 R06 R06 R06 R07		① 大型特	殊自動車角	的許取得者對	数	単位:人	② 大型自	動車免許耶	仅得者数		単位:人
5 10 15 12 15 4 12 7 10 10 15 世区総合除雪業務受託者の40才未満の除雪機械オペレータの割合 単位:% ② トラック協会旭川支部の40才未満のダンプ車両運転手の割合 単位:% R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06		R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
成果指標と過去5年間の R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 字績	の美視	5	10	15	12	15		4	12	7	10
字結		1 地区総合除	雪業務受託者の40	才未満の除雪機械	オペレータの割合	単位:%	② トラック協会	会旭川支部の40才	未満のダンプ車	両運転手の割合	単位:%
17.9 19.5 22.6 20.2 18.1 9.4 11.0 6.5 7.8		R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
	天限	17.9	19.5	22.6	20.2	18.1		9.4	11.0	6.5	7.8

				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度	E繰越					
補助対	収	市補助	金	995	1,982	1,470	1,979	2,400
	入	事業者	負担	1,366	3,101	2,088	3,197	4,530
対象	内							
象事	訳							
業等		国の補	助金等			197	99	
の	収入	合計		2,361	5,083	3,755	5,275	6,930
収	市補	助率(%)	42.1%	39.0%	39.1%	37.5%	34.6%
支状	支出	合計		2,361	5,083	3,755	5,275	6,930
況		うち食糧費、交際費						
	次年	度繰越	<u>\tag{\tag{\tag{k}}}</u>					
	一般	財源		995	1,922	1,344	1,621	
	特定	財源			60	126	358	2,400
市	人	_ III =	、人工	0.11	0.18	0.16	0.15	0.15
負织	件	正職員	金額	826	1,381	1,241	1,175	1,211
負担額	費 臨時·嘱託/会計年度任用職員		/会計年度任用職員					
		他事務	·····································					
	슴헒	ŀ		1,821	3,363	2,711	3,154	3,611
受	益対	象者数		14	27	28	34	42
補」	助金島	単位コス	ト(単位:円)	130,071	124,556	96,821	92,765	85,976
		11	トスキュ	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	 的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
		*	通事項	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
		ਰ]体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	5る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてい	3
適	格性	会	計処理等	◇ 決算における繰越金	:(剰余金)が補助額から	判断し、妥当である		
				補助金の交付申請書類で	や支出目的及び根拠は要	長綱に基づいており、適正	である。	
		#b / =1			△和4年由7 670 年四			

3個別項目に対する評価 [No 268]

O 112	が現立に対する計	Щ	[100.200]
	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/ 4 \ 六 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◇ 上記以外	□ 合致しない
炎		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の海	(小学为)政化)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
適合			していない
合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	· 益性	市の除排雪事業に従事する除雪車両のオペレータ等は高齢化しており、新たに人材育成	■ 公益性が高い
	» · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	することによって、安定した除排雪体制を確保することは、不特定多数の市民に直接的・間 接的に効果があるものである。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3业	必要性	除雪オペレータ等の担い手不足で除排雪体制が不安定化した場合、冬の道路環境は劣	■ 必要性が高い
		悪なものとなり、市民の生活環境や市内の経済状況に深刻な悪影響を及ぼすことから、本 補助金による人材育成は必要不可欠である。	 □ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
١.	_	はい手不足の除排雪業者に対して、新たな人材を育成・確保するための費用(大型特殊	■ 効果が高い
4亥	力果	自動車免許等の取得費用)の1/2以内を補助することによって、人材及び安定した除排雪	■ 効果が高い
		体制の確保につながった。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	の他		

4令和3年度行政評価への対応状況等

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	旭川市除雪機械等運転免許取得支援事業補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	除排雪事業に携わる人材を育成し、安定した除排雪体制を確保するため、実態を踏まえた支援を行うこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し) 見直しの年度 具体的な内容と効果 除排雪作業を行う場合に法令で義務づけられている車両系建設機械運転技能講習修了にかかる費用を補助対象に拡充し た結果、令和5年度、令和6年度とも9名の資格取得があり、運転手確保の推進が図られた。 令和5年度

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

題 解決に向けた取組

6全体的証価

の王仲	11111111111111111111111111111111111111	Ц								
評	価 結 果 理由、改善・見直しの方向									
1次	評価		除雪オペレータ等の高齢化・担い手不足の問題は深刻であり、新たな人材育成・確保に行政としても取り組まなければ、安定した除排 雪体制を確保できないことから、本補助制度は必要不可欠であり、継続する必要がある。							
外部	評価	_								
2次	評価	継続	_							

1補助金の概要 【No.269】

									[140.200]
可路灯維持補助金									
団体への補助	助(事業費	補助)				始期	S49	終期	_
人や街にやさ	としいあか	り環境推進	費			(事業コー	-ド)	10210	9
	土木 部	土	木管理 課		道路占	用係電	話番号	内線	5545
街路灯を維持	路灯を維持管理し、電気料金を支払っている町内会等の団体								
(対象) 誰, 何に対し									
(意図) どういう状態									
街路灯の電気	気料金をす	を払っている	が 町内会等の	の団体に対	し、補助金	を交付する	•		
街路灯の電気	気料金とし	て、前会計	年度1年間	に支払った	:額の2分の)1以内。			
① 交付対象	団体数			単位:団体	2				単位:
R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
964	972	965	965	944					
① 対象街路	好数	•	•	単位∶灯	2			•	. 単位:
R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
28,975	29,009	29,046	29,164	29,100					
	団体への補助 人や街にやさ 街路灯を維持 (対象)に対し (意)が大態 街路灯の電気 (かって)が大態 (まずいって)が大き (かっ)が大き (かっ)が大 (かっ)が大 (かっ)がた (かっ)が大 (かっ)が大 (かっ)が大 (かっ)が大 (かっ)が大 (かっ)が大 (かっ)が大 (かっ)が大 (かっ)が大	人や街にやさしいあか土木 部 生木 部 街路灯を維持管理し、 (対象) 誰,何に対して (意図) どういう状態にしたい 街路灯の電気料金を多り 街路灯の電気料金を多り 街路灯の電気料金とし ① 交付対象団体数 R02 R03 964 972 ① 対象街路灯数 R02 R03 R02 R03 R02 R03 R03 R03	団体への補助(事業費補助) 人や街にやさしいあかり環境推進 土木 部 土 街路灯を維持管理し、電気料金を (対象) 誰,何に対して (意図) どういう状態にしたい 街路灯の電気料金を支払っている 街路灯の電気料金として、前会計 ① 交付対象団体数 RO2 RO3 RO4 964 972 965 ① 対象街路灯数 RO2 RO3 RO4	団体への補助(事業費補助) 人や街にやさしいあかり環境推進費 土木 部 土木管理 課 街路灯を維持管理し、電気料金を支払ってい (対象) 誰,何に対して (意図) どういう状態にしたい 街路灯の電気料金を支払っている町内会等の 街路灯の電気料金として、前会計年度1年間 ① 交付対象団体数 R02 R03 R04 R05 964 972 965 965 ① 対象街路灯数 R02 R03 R04 R05	団体への補助(事業費補助) 人や街にやさしいあかり環境推進費	団体への補助(事業費補助) 人や街にやさしいあかり環境推進費 土木 部 土木管理 課 道路占衛路灯を維持管理し、電気料金を支払っている町内会等の団体 (対象) 龍,何に対して 街路灯の電気料金を支払っている町内会等の団体に対し、 街路灯の電気料金を支払っている町内会等の団体に対し、補助金 街路灯の電気料金を支払っている町内会等の団体に対し、補助金 街路灯の電気料金として、前会計年度1年間に支払った額の2分の ① 交付対象団体数 単位:団体 ② R02 R03 R04 R05 R06 R02 964 972 965 965 944 ① 対象街路灯数 単位:灯 ② R02 R03 R04 R05 R06 R02 R02 R03 R04 R05 R06 R02	団体への補助(事業費補助)	団体への補助(事業費補助)	団体への補助(事業費補助)

2収支状況等 単位・千円

<u>ح</u> بر	く又も	大況等						単位∶千円		
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
		前年度繰越								
補	収	市補助会	È	54,779	53,165	55,664	47,048	52,810		
助対	入	協議会負	負担							
補助対象事業等	内訳	受益者負	負担	54,779	53,165	55,664	47,048	52,810		
事業	九									
耒等		その他								
の	収入	、合計		109,558	106,330	111,328	94,096	105,620		
収支状	市補	助率(%)	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%		
火状	支出	合計		109,558	106,330	111,328	47,048	52,810		
況		うち食糧費、交際費								
	次年	度繰越								
	一般財源			54,779	53,165	55,664	47,048	52,810		
	特定財源									
市台	人	正職員	人工	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
市負担額	件	11-19/5	金額	7,508	7,673	7,755	7,833	8,076		
額	費	臨時·嘱託/会	計年度任用職員							
		その他事務費								
	合計			62,287	60,838	63,419	54,881	60,886		
		象者数		329,822	326,057	322,527	318,088	314,101		
補具	り金 り	単位コスト	(単位:円)	189	187	197	173	194		
			通事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない		
				◆ 交付申請等が定めたとおりになっている						
淬土	各性	団体	本の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれてい	3		
迎1	ΤIT	会言	†処理等		(剰余金)が補助額から					
				補助金の交付申請書類のの対象のでは、				だきている。		
						×4.1 ™ C ⊏ 77	III-9.10 C00 八 天1二で年//9			
	1 /1L 7			100 F B 2 F 20 T B			人100左左2 000 エ			

3個別項目に対する評価 [No 269]

O II	別項ロに対する可	ш	[140.209]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/1\⇒+各奴弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◇ 上記以外	□ 合致しない
立		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4) E ± 1 #088	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の			■ 同一団体補助だが、見直し設定
適合			していない
合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	·	不特定多数の市民が利用する道路に設置する街路灯の電気料金に関する補助であり、	■ 公益性が高い
	, mr 1-r	直接・間接的に効果が行きわたっている。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3业	少要性	街路灯が適正に維持管理されなかった場合、夜間における犯罪の発生や交通環境の悪	■ 必要性が高い
		化により、市民の生活に影響を及ぼすことから、本補助金により街路灯の維持管理を適正 に行うことが必要不可欠である。	 □ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		町内会等の団体が前会計年度に支払った街路灯の電気料金の2分の1以内を補助する	■ 効果が高い
4亥	加果	ことによって、夜間における犯罪の防止及び交通の安全が確保され、市民の安全安心な生	■ 刈未が高い
		活を守ることに寄与しており、補助金の効果は高い。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	の他	1(4)について	
		町内会等の団体が設置する街路灯を適正に管理するためには、継続して補助金を交付する	っことが必要である。

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

補助金名称(当時)	街路灯維持補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
	街路灯の省エネ化については、電気料金の低減が図られることから、町内会等における普及促進に努めること。 なお、省エネ化の進捗状況を考慮し、改めて補助金の在り方や補助金額を検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の目直し)

(ての他の兄担し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

題 解決に向けた取組

評価	i	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	町内会等の負担を軽減することで、夜間の安全を確保し、街路灯の適正な管理を維持するため。
外部評価	<u> </u>	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.270】

「田均立の成文									110.2707
補 助 金 名 称	街路灯設置補助	時路灯設置補助金							
補助金の性格	団体への補助(事	事業費補助)				始期	S36	終期	_
予 算 事 業 名	人や街にやさしいあかり環境推進費					(事業コー	·ド)	102109	
所 管 部 署	土才	土木 部 土木管理 課 道路					話番号	内線 5	545
交付先(団体、個人等)	街路灯を設置する	8灯を設置する団体							
交付目的	(対象) 誰、何に対して								
	(意図) どういう状態にし	意図) (者路灯を設置する団体の街路灯設置費用負担を軽減し、設置及び更新を適正に行う。							
対象事業等の内容	道路を照らす街路灯を設置する町内会等の団体に対し、予算の範囲内で補助を行う。								
積算方法	設置に要する費り	用の2分の1に相	当する額(-	その額が別	に定める額	を超える場	合は、その	定める額)	以内の額。
	① 申請件数			単位∶件	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02 R0)3 R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	391	356 292	224	178					
	① 設置灯数			単位:灯	2				単位:
成果指標と過去5年間の	R02 R0	03 R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	2,246	2,214 1,721	1,132	724					

2収支状況等 単位:千円

<u>ح</u> بر	く又も	大況等						単位∶千円		
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
		前年度繰越								
補	収	市補助会	È	39,716	32,327	22,787	14,604	15,580		
助対	入	協議会負	負担							
補助対象事業等	内訳	受益者負	負担	43,045	36,293	26,843	14,604	15,580		
事業	加									
未等		その他								
の	収入	合計		82,761	68,620	49,630	29,208	31,160		
収支状	市補	助率(%)	48.0%	47.1%	45.9%	50.0%	50.0%		
	支出	合計		82,761	68,620	49,630	29,208	31,160		
況		うち食糧	費、交際費							
		7年度繰越								
	一般財源			39,716	32,327	22,787	1,683	2,650		
	特定財源						12,921	12,930		
市台	人	正職員	人工	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
市負担額	件弗	12.19.50	金額	7,508	7,673	7,755	7,833	8,076		
額	費		計年度任用職員							
		その他事務費								
	合計			47,224	40,000	30,542	22,437	23,656		
		象者数		329,822	326,057	322,527	318,088	314,101		
補助	り金 り	単位コスト	(単位:円)	143	123	95	71	75		
		# ii	通事項		例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない		
				◆ 交付申請等が定めたとおりになっている						
適格性			本の運営、	◆ 会計処理が適正であ		め、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれている	3		
旭1	口工	会記	十処理等		(剰余金)が補助額から					
				補助金の交付申請書類の町内会等の団体が設置で	や支出目的及び根拠は別 する街路灯の工事費をご	見則に基ついており、適正 2分の1以内で補助してお	.である。 らり. 負扣を軽減できてい.	న్		
				TO THE REPORT OF THE PARTY OF T	, U	-73 -2 · X1 3 C 1111 23 C C 00	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	•		
	1 /1L 7				人10.4左 点 2 020 4 0	人105年 年 2 355 年 1	人100左左2 000 エ			

3個別項目に対する評価 [No 270]

O III		-	[110.270]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
1 補助金交付基準との適合性 2 2 2 2	/1/分色奴弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
即众		◇ 上記以外	□ 合致しない
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			□ 有(4年以上)
付基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)見直し期間 (終期設定)	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
			い(対象外)
の			■ 同一団体補助だが, 見直し設定
過			していない
台性			┃ ┃ 奨励目的補助だが,終期を設定
			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(a) + U+=++	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
~ /	\ 	不特定多数の市民が利用する道路に設置する街路灯の工事費に関する補助であり、直	■ 公益性が高い
21	益性	接・間接的に効果が行きわたっている。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 11	· 必要性	町内会等団体が保有する街路灯の省エネ化が進み、使用電力量及び電気料金の削減に	■ 必要性が高い
3 ×	女任	より、団体の財政的負担軽減に有効であるとともに、CO2削減による地球温暖化対策にも	
		寄与するため、推進すべき事業である。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4亥	力果	道路に街路灯を設置する団体に対し、街路灯の設置に要する費用の2分の1に相当する 類を結けます。よって、存間における初果の時に及び交通の完全が辞録され、末足の	■ 効果が高い
		額を補助することによって、夜間における犯罪の防止及び交通の安全が確保され、市民の 安全安心な生活を守ることに寄与しており、補助金の効果は高い。	 □ 効果が高いとは言えない
		女主文心は工冶とすることによってにあっているが、補助並の効果は高い。 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
F 7	- A H		
57	の他	1(4)について 町内会等の団体が設置する街路灯を適正に管理するためには、継続して補助金を交付する	S.ことが必要である
		更で3月より日本で、民間との正見との同じに四角には、「日本では、」」では、「日本では、」」」には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、」」には、「日本には、日本には、「日本には、日本には、「日本には、「日本には、日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、「日本には、日本には、「日本には、日本には、日本には、「日本には、日本には、日本には、「日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、	アニアングタイのの。

4令和3年度行政評価への対応状況等(行政評価)

(1) 攻計៕)	
補助金名称(当時)	街路灯設置補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	市民生活の安全・安心を確保するとともに、町内会等の負担を軽減するため、本補助金を継続すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

題 解決に向けた取組

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	町内会等の負担を軽減することで、夜間の安全を確保するとともに、街路灯の適切な設置・更新を図るため。
外部評価	_	_
2次評価	継続	_

_1補助金の概要 【No.271】

										_
補助金名称	旭川市を綺	B川市を緑にする会補助金								
補助金の性格	団体への補	亅助(事業費	貴補助)				始期	S49	終期	_
予 算 事 業 名	緑化推進費	ŧ					(事業コー	(ド)	091106	
所 管 部 署		土木 部	公園	みどり 課		管理総	水化 係 電	話番号	内線:	5562
交付先(団体、個人等)	旭川市を綺	川市を緑にする会								
交付目的	(対象) 誰、何に対	して	旭川市民							
עם בו עו א	(意図) どういう状態	意図) 緑化に対する機運を醸成するとともに、市民参加による緑化活動を充実させ、豊かな自然と都市が調和するみどりあふれるまちにする。								
対象事業等の内容	1. みどりを 2. みどりを					花壇花株支∶ の育樹事業				
積算方法	事業内容に	に応じた補助	助(予算の匍	色囲内)						
	① 植樹及	び配布花樽	未数		単位:株	② イベン	ト及び緑化	支援の回数		単位:回
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	18,362	23,938	19,187	16,987	811	52	70	64	65	13
	① 花株助成	が地域づくり	に役立ったと[回答した割合	単位:%	② イベント等の)参加アンケートで約	禄に興味関心を持つ	たと回答した割合	単位:%
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	96	87	95	95	_	90	73	96	87	93

24	又支制	犬況等						単位:千円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度繰越						
補	収	市補助金	金	2,800	3,500	3,000	1,000	1,000
助対	入	協議会負担						
補助対象事業等	内	自己資金	金	944	399	1,166	1,162	1,750
事	訳	交付金				900		
美生		その他						
の	収入	合計		3,744	3,899	5,066	2,162	2,750
収支	市補	崩助率(%	6)	74.8%	89.8%	59.2%	46.3%	36.4%
収支状	支出	合計		3,744	3,899	5,066	2,162	2,750
況		うち食糧	費、交際費					
	次年	度繰越		0	0	0	0	0
	一般財源							
	特定	財源		2,800	3,500	3,000	1,000	1,000
市	人	正職員	人工	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
市負担額	人件	工概貝	金額	3,003	3,069	3,102	2,350	2,423
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	その	他事務	費					
	合計	 		5,803	6,569	6,102	3,350	3,423
受	益対	象者数		328,589	325,039	321,469	317,167	313,360
補」	助金島	単位コスト	(単位:円)	18	20	19	11	11
			通事項	◆ 支出根拠が法令、条	₹例、規則、要綱等に基つ	づいている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
			世子久	◆ 交付申請等が定めが	ことおりになっている			
٠ غد ٠	適格性		本の運営、	◆ 会計処理が適正であ	ある ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてい	いる
週·			計処理等		(剰余金)が補助額から			
				・会計処理~総会におい	へて監査報告が行われて	いる。		
×	人化	费(正職)	를 상) (# - 4	\$和3年度7 508 千 円	令和4年度7. 673千円	今和5年度7 755 千 F	口 今和6年度7 833千	·四 今和7年 使 2 076

3個別項目に対する評価 【No.271】

STI	^{国別項目に対する計}		【No.271】
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	 (1)対象経費	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象社員	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	- ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	- ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金		◆ 上記以外	■ 合致しない
金		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ 有(4年未満)
交付			□ 有(4年以上)
其		 ◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
基準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 帰続す中不凋 □ 同一団体、奨励目的補助では
غ	(4)見直し期間	▼「特別へ以及し、「開助」が関する。	ロー同体、奨励日的補助では ない(対象外)
の	(終期設定)		
適			■ 同一団体補助だが、見直し設 定していない
合性			
			□ 奨励目的補助だが、終期を設 定していない
	/E\ & (4.49.49)	▲ 六八切和八切中文 選択其後に入み その地立西が担党は帰還	, =
	(5)交付規程 (支出根拠)	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(文山依拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	公益性	・補助団体は、国、道、市、民間団体、地域住民組織と協働し、市民参加による緑豊かな	■ 公益性が高い
		まちづくりを推進しており、本来、市が実施すべき事業を市民協働で担っている。 ・不特定多数の市民に直接的・間接的に効果が行き渡っている。	
		「「「「「「「「」」」「「「」」「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 1	必要性	・地域住民組織を包括し、公共の福祉を図り緑化事業を実施している団体は外になく、廃止、縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす。	■ 必要性が高い
<i>ر</i> و د	少女に	ると中氏生活に入さな影音を及ばす。 ・補助団体は本市を緑豊かなまちにするため市民参加による緑化の充実を目的に設立され、活動し	
		ている。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		・自然と都市が調和するみどりあふれるまちづくりを目指す緑の基本計画の推進に寄与し	■ 効果が高い
		ている。	
		・市民協働による都市緑化の推進や普及が図られ、市が単独で実施するより費用対効果 が大きい。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
		1(2)について ・実施事業は街の緑化であり、社会全体の利益であって受益者が一部に限られないことから、受益者	f負担が求められるものでけたい
52	その他	「美心事業は国の縁化であり、社会主体の利益でありて支蓋者が、前に限られないことがら、支蓋者1(3)について	アニア・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション
J-7		・市の補助金以外の収入としては、個人や企業等からの緑化のために寄せられた寄附金や募金があ	
		きく支障をきたし、補助目的の達成が図られない。なお、R5は周年イベント開催のため交付金を活用 1(4)について	し、補助率の低減が図られた。
		「はかこういで ・現状として地域住民組織を包括しつつ緑化を推進している団体は他になく、同一団体補助の見直し	は設定しない。

4令和3年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川市を緑にする会補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
	活用している都市緑化基金の残高が減少傾向であることを踏まえ、引き続き事業内容の精査や効率化とあわせて他の財源の確保を検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和4~6年度	令和4年度は補助予算要求額で前年比50万円削減。令和5年度は周年イベント開催に際し、地域つくり総合交付金を店用し補助金への依存を抑制。令和6年度は花株助成事業を指定管理者に移管(200万円相当)。移管先事業を含め、要求ベースで前年比50万円削減。
/ # a // a D +/ \	

(その他の見直し)

((の他の元直し)	
見直しの年度	
元旦しの十尺	兵体的な内存と対策

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	補助財源は全額都市緑化基金充当となっており、近年の枯渇が見込まれている。
解決に向けた取	組 一般財源化に向けた庁内協議。

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	市民協働による都市緑化の推進や普及が図られ、広く効果が行き渡っているため。
外部評価	-	_
2次評価	継続	_

_1補助金の概要 【No.272】

補助金名称	花フェスタ2	2024旭川	開催負担金	•						
補助金の性格	団体への補	輔助(事業費	[補助]				始期	H6	終期	_
予 算 事 業 名	緑化推進費	ŧ					(事業コー	-ド)	09110	6
所 管 部 署		土木 部	公園	みどり 課		管理絲	禄化 係 電	話番号	内線:	5562
交付先(団体、個人等)	花フェスタカ	旭川実行委	員会							
交付目的	(対象) 誰、何に対	(対象) 誰、何に対して 旭川市民をはじめとした道北圏域の人々								
	(意図) どういう状態	(意図) どういう状態にしたい 花や緑による美しいまちづくりに取り組む。								
対象事業等の内容	花フェスタカ	但川を開催	するため、	会場設営費	及び展示物	物を作成しく	イベントを実	施する。		
積算方法	対象経費の	02分の1以	内							
	① 入場者	数			単位:人	2				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の天根	中止	44,457	74,021	13,552	21,000					
h = 11.1= 1 .= 1	① 作品展	① 作品展示コーナー参加団体 単位:団体 ② 園芸				② 園芸出	店者			単位∶団体
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	中止	中止	3	5	6	中止	中止	7	į	5 7

2収支状況等 単位∶千円

24	又支制	犬況等						単位:千円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度網	噪越	226	326	284	240	393
補	収	市負担金		1,000	3,300	3,300	3,300	3,300
助対	入	協議会負担		1,100	3,300	3,300	3,300	3,300
補助対象事業等	内	協賛金			582	795	1,275	532
事	訳	受益者的	負担金等	40	296	498	460	420
美生		その他				13		55
の	収入	合計		2,366	7,804	8,190	8,575	8,000
収支状	市補	助率(%	5)	42.3%	42.3%	40.3%	38.5%	41.3%
又状	支出	占合計		2,040	7,520	7,950	8,182	8,000
況		うち食糧	費、交際費					
	次年	度繰越		326	284	240	393	
	一般	以財源						
	特定	財源		1,000	3,300	3,300	3,300	3,300
市台	人	 正職員	人工	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
負担額	件	工机员	金額	3,003	3,069	3,102	3,133	3,230
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	その	他事務	貴					
	合計			4,003	6,369	6,402	6,433	6,530
受:	益対	象者数		44,457	74,021	13,552	21,000	30,000
補」	助金島	単位コスト	(単位:円)	90	86	472	306	218
	共通事項					づいている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
	適格性			◆ 交付申請等が定めが				
`兹·			本の運営、	◆ 会計処理が適正であ	ある ◆ 設立目	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてい	る
迎			計処理等		②(剰余金)が補助額から			
				会計処理については、会	会計責任者のもと行われ	ており、適正に処理され.	ている。	
×	人化	弗/正融	를 수) (1 년 일 수) (1 년 년	≥和3年度7 508千円	今和4年度7 673千 四	、	口 今和6年度7 833千	四 今和7年度9 076

3個別項目に対する評価 [No.272]

31	別項目に対する評	半 価	【No.272】
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4~44444444444	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助		◇ 上記以外	
金		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
交付			□ 有(4年以上)
基		 ◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	
لح	(4)見直し期間	▼ 終州不設たし、補助極続年半以上	□ 同一団体、奨励目的補助では ない(対象外)
の	(終期設定)		
適			■ 同一団体補助だが、見直し設 定していない
合性			
性			□ 奨励目的補助だが、終期を設 定していない
	/_\ / - / / - / - - - - - - - - - - - - -		, = : -
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)		□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	公益性	・不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている。	■ 公益性が高い
	» · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・総合計画及び緑の基本計画の推進に寄与している。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	必要性	・花と緑の豊かな都市空間の創造を推進するため、本市も実行委員会に参画しており、厳しい財政	■ 必要性が高い
٦	751	状況の中、他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である。	\
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	
4亥	力果	・市民協働で花と緑の豊かなまちづくりを進める上で必要なイベントであり、市が単独で実施するよりも費用対効果が大きい。	■ 効果が高い
		他 9 るよりも負用対別未が入さい。	□ 効果が高いとは言えない
		┃ 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
		1111の三人口生子との担口に、「日外しの「生田に」「「いれしいが」」でした。	
53	一の他		ᆲᄱᅜᄺᆉᄱᄦᄱᆄᆚᇫᆇᇎᅩᅛᄼᄱ
		道北最大の初夏のイベントによる経済効果, 花によるまちづくりへの市民意識の高揚, 市民協働の取進が図られており, 他に本イベントを行う団体等がないことから, 同一団体補助の見直しは設定しない。	
			0

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

(1)以計1四/	
補助金名称(当時)	花フェスタ2020旭川開催負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	担金財源は全額都市緑化基金充当となっており、近年の枯渇が見込まれている。			
解決に向け	けた取組	一般財源化に向けた庁内協議。			

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		道北最大の初夏のイベントによる経済効果,花によるまちづくりへの市民意識の高揚,市民協働の取組や地球温暖化防止の普及などの促進が図られるため、継続する必要がある。
外部評価	1	_
2次評価		新型コロナウイルスによる社会変化によって減少した参加出店料の確保に努めるとともに、求められるニーズを的確に把握し、開催手 法の抜本的見直しについても検討を促すこと。